



武の子



令和8年6月25日
恵那市立武並小学校
学校報 No.4

TEL :0573-26-6873
takenami-e@ena-gif.ed.jp

『もっと知りたい』が育つ学びを

校長 各務 恵美

学校教育における「学力」の捉え方は、いま大きく変わりつつあります。これまでの知識や暗記を中心とした学力だけでなく、「知識・技能」を土台にしなが、**「思考力・判断力・表現力」**や**「学びに向かう力・人間性」**をバランスよく育てていくことが求められています。つまり、「何を知っているか」だけでなく、「それを使って何ができるか」を大切に**する学び**です。



【3年生 自主学習ノート】

本校でも、子供たちが主体的に学び、仲間と関わりながら考えを深めていく**学び**を大切にしています。その一つが防災教育です。一学期には、地震体験や避難所のレイアウトづくり、学校や地域の防災倉庫の点検、水消火器体験、段ボールベッドの組み立て、高齢者体験など、実際の場面を想定した活動を行います。これらは、「命を守るためにどう行動するか」「自分に何が**できるか**」を考える大切な学びです。

こうした学びは、学校だけで終わるものではありません。家庭での振り返りや調べ学習などを通して、学びはさらに深まっていきます。家庭学習は、知識の定着だけでなく、自分から学ぼうとする力を育てる大切な時間でもあります。実際に3年生の中には、授業や体験をきっかけに、地震や津波について自主学習で調べ、まとめる姿が見られます。「もっと知りたい」と感じ、自ら学びを広げている姿は、これから求められる学力の姿そのものです。

これからも、子供たちが自ら学びたいと思えることに会い、それを自分の力として広げていく経験を重ねていけるとよいと感じております。

防災スクールが始まりました

6月8日(月)を皮切りに、探究的に防災学習が始まりました。6年生は地震体験車に乗り、能登地震の揺れを体験後に巨大地震の発生とともに起きる災害について交流し、避難所開設の必要性を考えました。1年生は、水消火器体験、2年生は、学校及び振興事務所の防災倉庫を点検しました。学習は今後も続していきます。



【水消火器体験】

【防災倉庫点検】

5年生根の上宿泊研修



【自然散策】



【間伐体験】



【キャンプファイヤー】



【ボート体験】

1日目は雨になりましたが、大勢のボランティアの方々の協力を得て、自然散策、間伐体験など、自然に親しんだり、山林の役割や間伐の必要性を学んだりしました。初めての体験も多く、心に残る活動となりました。キャンプファイヤーでは、上の洞木育クラブの皆さんに教わりながら作ったトーチに火を付けました。この学びが仲間との友情の深まりになるように、踊ったり、ゲームをしたりして楽しい時間を過ごしました。2日目は、ボート体験、カレー作りを楽しみました。「今までで1番おいしいカレーだった。」と言っている子供もいるなど、大変充実した活動になりました。